

学校・家庭・地域ではぐくむ 中央っ子の学力

～2019年度 全国学力・学習状況調査から見てきたこと～

一人ひとりの子どもの「確かな学力」をはぐくむために、調査結果から明らかになった課題を学校・保護者（家庭）・地域が共有し、それぞれの立場でできることに取り組むために、本資料を作成しました。

全国学力・学習状況調査とは・・・

1. 調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 実施日・調査対象

平成31年4月18日（木）、全国の小学校6年生、中学校3年生を対象に実施。

3. 調査の内容

①国語 ②算数 ③児童質問紙（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面などに関する内容）

4. 全国学力・学習状況調査から見てきたこと

1 中央っ子の「国語」の力

身につけている力

◎目的に応じて情報をとらえる力。



さらに身につけたい力

- ★資料の適切な使い方（活用）と選択。
- ★いろんな条件をふまえて作文する力。
- ★文章の間違ひを見つけ、正しく書き直す力。
- ★読書に親しむ姿勢。



2 中央っ子の「算数」の力

身につけている力

◎グラフを読み取る力。



さらに身につけたい力

- ★四則が混ざった計算を正しい順序で行う力。
- ★小数の計算を正確に行う力。
- ★情報を活用して数学的に表す力。
- ★算数用語を用いながら表現する力。



3 中央っ子の学習と生活の姿

身につけている力

- ◎将来の夢がある。
- ◎あきらめずに物事に取り組む姿勢が育っている。



さらに身につけたい力

- ★「早寝、早起き、朝ごはん」の生活習慣。
- ★学習に対しての積極性。



「教科に関する調査」結果と「生活習慣や学習環境等に関する調査」結果より、**生活習慣・学習環境と学力は関連があることがわかってきています。**

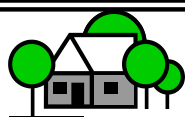
5. 中央っ子の学力を育てるために・・・



今後学校で力を入れる取組



- 友達同士、いろいろな考え方があることを認めたり、自分のよさや友達のよさに気付いたりできる人権が尊重される学習の場づくりをします。
- 「やってみたい」「考えてみたい」と意欲的に取り組めるように課題解決型の授業を行います。
- 友達同士で学び合う場（ペア学習やグループ学習など）を設定し、他者と自分の意見について比べ、それをもとにして自分の考えを深める機会を多く設けます。
- 授業では一人で考える時間を設定したり、まとめ、振り返りの時などに条件作文（大切な言葉を遣う、字数制限など）を書く機会を増やしたりします。
- 自分の考えを記述して表現させ、なぜそう考えたのか根拠を表す機会を多く設けます。
- 活用・発展問題につながるような思考させる内容のものを出す時間を設定し、思考力を高める活動を増やします。
- 教職員の協働性を高めながら、ユニバーサルデザインの視点を取り入れるなど、授業づくりに努めます。
- 図書館の積極的利用を考えていき、読書に親しむ環境づくりを行います。



家庭でできること



- 「早寝、早起き、朝ごはん」の生活習慣を身につけさせましょう。
- 家庭で学校や地域の話題について話をしましょう。
- 地域行事に積極的に参加させましょう。
- 家庭学習の習慣を身につけさせましょう。子どもの頑張りを認め、つまずきが見られたら声かけをしましょう。
- 読書習慣をつけるために、子どもと一緒に本に親しみましょう。
- テレビ・ゲームをする時間を決めましょう。



※丹波市教育委員会のホームページには、「家庭学習のチカラ」「わが家のひと工夫」も掲載されていますので、ご家庭でのお子さんへのかかわりの参考にご活用下さい。

自律し、しっかりとした判断力・思考力を持つ子どもに
育てるために、学校・家庭・地域が協力していきましょう。